

令和 5 年 6 月 28 日現在

機関番号：32629

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2018～2021

課題番号：18H00654

研究課題名(和文)メイフラワー・コンパクトにおける排除/包括の理論と環大西洋文化の再定位

研究課題名(英文)The Dynamics of Exclusion/Inclusion in the Mayflower Compact and the Refashioning of Transatlantic Cultures

研究代表者

下河辺 美知子 (Shimokobe, Michiko)

成蹊大学・文学部・客員研究員

研究者番号：20171001

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 11,280,000円

研究成果の概要(和文)：2018年開始の本プロジェクトは一年延期し2023年3月に終了した。計五年にわたる共同研究では、アメリカ的空間の囲い込み運動(包括運動)の原点が、十七世紀のメイフラワー・コンパクトの効果であることを検証し、逆概念である非アメリカ的空間設定(排除の規制)と同時に稼働していたという結論を確認した。メイフラワー・コンパクトの言語的・政治的・歴史的效果を、この契約が交わされた十七世紀の新大陸のみでなく、独立期の十八世紀、拡張期の十九世紀、そしてアメリカが世界を制覇した二十世紀から現在にいたる流れの中で具体的な場面において浮き彫りにしてアメリカ研究の新モデルを提示し今後の人文研究のあり方を問うた。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本プロジェクトの研究代表者および研究分担者はアメリカ文学を専攻するところから研究を始め、脱構築はじめその時々最新の批評理論を吸収しつつ学際研究としてのアメリカ研究に軸足を置いてきた。そんな中行われた共同研究であるが、コロナというグローバルな現象に巻き込まれたこともあり、アメリカ研究という枠を超えて言葉を使って国家や個人の立ち位置を確認する困難と方策を求めることで人文学研究を新しい可能性へ開いていく道筋を提示できた。その成果は5年間で9回におよぶ国内・国際研究会の実施、メンバーの国内・国外での研究発表や論文提出、そして現在企画中の本プロジェクト成果本出版という形で確認できるであろう。

研究成果の概要(英文)：Launched in 2018 and extended for an extra year, this project was completed in March 2023. In our five-year research, we have identified the Mayflower Compact as a crucial origin that developed, not only into the enclosure of American territories (the dynamics of inclusion), but also into the demarcation of un-American spaces (the dynamics of exclusion). Meditating on the Mayflower Compact's discursive, political and historical impacts on the United States, we illustrated them with the groundbreaking events from the 17th century through the 21st century and offered a new approach to American Studies that will renovate the future of the humanities.

研究分野：アメリカ文学文化、精神分析批評

キーワード：メイフラワー・コンパクト 環大西洋文化 排除と包括 法と共同体 脱半球

1. 研究開始当初の背景

グローバリゼーションという地球規模の運動が世界を覆いつくす二十一世紀の今、アメリカという主体の形成過程を再確認する必要性があるという立場から本プロジェクトは企画された。アメリカという国家が、新しい空間に新しい理念によって打ち立てられたというならば、共同体設立の動機と契機というテーマを地球規模の枠組みの中で見直すべきであろう。メイフラワー・コンパクトとは、プリマス植民地を作ることになるイギリス人たちが、新大陸上陸を目前にしてケープ岬沖に停泊中のメイフラワー号内で立案・署名した文書であるが、本研究は、アメリカ合衆国の設立の起点を、独立の時点ではなく、そこから **150** 年以上さかのぼった **17** 世紀はじめのニューイングランドに据え、ヨーロッパから来た人々が新大陸に上陸するにあたり、どのような形で共同体を設立しようとしたかという問題がメイフラワー・コンパクトの分析により浮き上がってくるであろうという予測から出発した。メイフラワー・コンパクトという契約が示す排除/包括の理論が、植民地設立、独立革命、十九世紀拡張運動から世界の覇権を握った二十世紀を経て現在のアメリカの国内国際情勢という流れすべてを下から支えているのではないかという仮説の検証が出発点に設定されていた。

環大西洋的文脈の中でアメリカの位置を見直すためには、アメリカが国家として誕生する **1774** 年より **150** 年前に時間枠を拡大すべきであろう。また、新大陸に移り住んだ人々のアイデンティティをヨーロッパ人と定位するという空間的転換によって、これまでとは違う風景からアメリカを見ることになるであろう。環大西洋的英米関係を再構築するとき、新しいアメリカ観、新しい英米文学観が浮き上がってくるはずであるという予測が立つことを研究代表者と研究分担者の間で確認済みという状況の中、本プロジェクトは開始された。

当時、研究代表者および研究分担者は、基盤研究(B)「マニフェスト・デスティニーの情動的効果と**21**世紀惑星の想像力」という共同研究を終了しており、成果本の出版準備に入っていた。さらに、その一つ前に行った基盤研究(B)「モンロー・ドクトリンの行為遂行的効果と**21**世紀グローバル・コミュニティの未来」(**2010**~**2013**)の研究成果を『モンロー・ドクトリンの半球分割:トランスナショナル時代の地政学』として本申請一年前の **2016** 年に出版している。その他、研究代表者が別のプロジェクトで行ってきた共同研究の成果本『アメリカン・テロル』(**2009**)、『アメリカン・ヴァイオレンス』(**2013**)、『アメリカン・レイバー』(**2017**)には、本プロジェクトの研究分担者二名も寄稿している。当プロジェクト開始時点で、代表者と分担者二名の三名は十年あまりの共同研究により研究実績を積み上げていた。その間、一貫してアメリカ国家が空間的・時間的位相を形成してきた経緯を検証し、その歴史的推移を支えてきた動機に政治的知見だけでなく文化的、心理的側面からの分析をほどこしてきた。

プロジェクトメンバーは国内の学会活動および海外の学会活動の場において本プロジェクトのテーマについて実績を積み重ねて準備していたことも付け加えておく。**2013**年**5**月日本英文学会シンポジウム「**21**世紀世界における惑星の想像力」(司会・講師下河辺、レスポンドント巽)、**2015**年**6**月 **The 10th International Melville Conference**(慶應義塾大学)、**2013**年**6**月 **The 9th International Melville Conference@ Washington DC**(下河辺、巽、舌津)、**2017**年**6**月 **The 11th International Melville Conference @ London**(下河辺、巽)などがあり、環大西洋的視点におけるアメリカという国家の包括/排除というテーマを論じる基盤が整った状態で本プロジェクトは開始されることとなった。

2. 研究の目的

本研究は、アメリカ研究という領域をこえて、二十一世紀世界の見取り図を刷新するための手がかりを示し、そこに人文学研究の可能性を提示することを目指している。そのために、これまでにない形の学際研究を志向しており、そこに本研究の創造的意義を持たせている。

第一に、アメリカ研究の一つとして近隣領域を取り入れた学際研究であることは言うまでもないが、アメリカ合衆国のみを対象としてその存在の意義を問うこれまでのアメリカ研究の枠を拡大し、ヨーロッパと新大陸とを有機的につなぐ環大西洋的空間の中で研究対象を俯瞰するという立体的な学際研究のケースを提示することを目的とした。

第二に、時間・空間の両面において、これまでアメリカを語るために設定されていた固定枠をはずして世界を見直すことを前提とした。時間軸としては、アメリカ独立を起点に語られることが多いアメリカという主体の成立の起原を、十七世紀にまでさかのぼりそこから語り起こそうとしている。また、空間としては、従来北米大陸の枠内で研究されていたアメリカを、別半球に赴いたヨーロッパ人たちが設立した共同体として環大西洋的空間の中で見ようとするものである。共同体設立の原点に排除/包括の理論をつきとめ、それがどのような形で以後、現在に至るまでアメリカ大陸の上で反復されてきたのかを解き明かし、歴史研究、文化研究にはない結論を導き出すことを期待していた。

最後に、政治・歴史の言説で語られるべきアメリカの建国のレトリックに、文学批評の手法と精神分析の洞察を用いて光をあてることで見えてくるものを探るのが一番の目的であった。国民国家としてのアメリカを成立させてきた「同一性」とは、理念の上に言葉によってねつ造されてきた。緻密な修辞に注目する文学研究の手法を導入することで、排除/包括のレトリックの中に宿る理想主義的希望や拡張への欲望、そして、境界の不安をめぐる政治的欲動などを科学的に検証できるであろう。その上で、精神分析的洞察も本研究の中で活用し、他者の感情に入り込み他者の行動を喚起する機能としての情動を複数の学問領域から立体的に検証する。アメリカという主体が立ち上がるときに会う他者にたいしてどのような情動作用が働いたかを、17世紀から現在にいたるまでのアメリカ的言説の中にたどっていき、テロや核兵器という二十一世紀世界の重大問題への洞察につなげることを最終目的とした。

3. 研究の方法

本プロジェクトはスタート時に以下六つの方法を設定した。着手する順序は必ずしもこの順番ではなく、国内外の研究者との連絡をとりながら随時実施していった。メイフラワー・コンパクトのテキストを、法の言説、約束の言説、信仰の言説として詳細にテキスト分析する。この契約が作られ署名された社会的・政治的・文化的経緯を歴史の中で見ていく。メイフラワー・コンパクトの言語的・政治的・歴史的効果を「排除/包括の理論」の中で検証していく。共同体の設立の際の権力の立ち上げの形を、法学・政治学・哲学などの分野から検討する。メイフラワー・コンパクトがナラティヴとして十七世紀から二十一世紀にいたるまで、アメリカ文化の中で変奏されていく経緯をたどり、「排除/包括の理論」の不変性と可変性とを検証していく。環大西洋文化を再定位することで、地球規模の空間におけるアメリカの位置を再検討する。

実際の研究領域は以下の三つにわけた。各々の項目を分担するメンバーを決め、そのメンバーが共

同研究できる海外の研究者との連携を計画した。

メイフラワー・コンパクトの意義の歴史的検証および「排除/包括の理論」の情動的背景 には下河辺があたり、**Cornell University** の **Professor Cathy Caruth** に協力をあおいだ。メイフラワー・コンパクトをテキストとして分析し、その行為遂行的効果を検証し、アメリカ的主体形成の中に潜在する「排除/包括の理論」を稼働させてきた過程を分析し、共同体設立の際の法の設定の意義を **Jacques Derrida** などの研究を軸に再検証した。メイフラワー・コンパクトが新大陸に創設したヨーロッパ人たちの共同体において法設定という行為が果たした役割について結論を出した。

メイフラワー・コンパクトのピューリタン研究内での意義および現代アメリカ文学文化における表象 では、巽が主導となりコーネル大学時代の学友 **University of California, Berkeley** の **Professor Samuel Otter** と共同研究をした。具体的な研究課題としては、これまであまり注目されてこなかったテキスト精読の方法論としての脱構築と惑星思考との相互作用を検討し、二十一世紀ならではの文学思想史を構築する予定であった。

メイフラワー・コンパクトと環大西洋文化圏をめぐる地理的想像力 では、舌津が中心となり、**Université de Lyon** の **François Specq** と共同で研究を進めた。メイフラワー・コンパクトに淵源する言説の地理的射程を再考し、それが英国 / 米国の二国間をこえた文化的・政治的な文脈と影響力を有することに着目して研究を進めたが、本研究がその解明を目指す「排除と包括の理論」が、アフリカを含めた環大西洋文化圏を広く想像的な射程に収めつつ、アメリカの建国・独立・分裂に際して常に浮上する人種問題とも分かちがたく絡み合うこととなる様相を浮き上がらせようとした。

4. 研究成果

アメリカ的空間への囲いこみ運動の原点がメイフラワー・コンパクトの効果にあったとすれば、一方で、契約をとりかわすことで排除の機制が働きアメリカ国家の歴史を形成してきた事実も確認できた。他者とは、いずれ包含されるべきものなのか、敵として攻撃しつづけるものなのか。排除/包含の理論の原型としてメイフラワー・コンパクトを位置づけ、そのレトリックがアメリカの歴史を稼働させてきたことを検証することにより、本研究は二十一世紀世界への提言を国際社会に発信する可能性を持つ成果を達成したと言えよう。

本プロジェクト開始前は、メイフラワー・コンパクトそのものを対象とした先行研究は、国内外を見渡してもほとんどなかったが、この契約の作成・署名の経緯を明らかにすることにより、メイフラワー・コンパクトのテキストを分析することで、法の言説、約束の言説、信仰の言説としての文化的意義が明らかになってきた。メイフラワー・コンパクトの言語的・政治的・歴史的効果を「排除/包括の理論」の中で検証した結果、共同体の設立の際の権力の立ち上げの形を、法学・政治学・哲学などの近隣分野での意義を検証するという方法が有意義であったためである。「排除/包括の理論」の不変性と可変性とが環大西洋文化の再定位への見通しを作ったのである。

五年間の共同研究の成果を数字で確認しておきたい。研究代表者および二名の研究分担者の業績を合計した数字である。雑誌論文計20件(内国際共著論文計3件)、学会発表計30件(内招待講演21件、国際学会7件)、著書20件(内英語の図書6件)となっている。その他、本プロジェクト主催のシン

ポジウム・研究会13回(内国際企画3回)、本プロジェクトメンバーがかかわった国際シンポジウム4回となっている。

アメリカ的空間では外部を囲いこもうとする内包の運動が推進されてきたとすれば、同時に進行していた排除のメカニズムにも目をむけるという本プロジェクトの当初の前提は、排除/包括の理論の先にある「他者」に対する呼びかけの可能性を提示できた。それゆえ、本研究はアメリカ研究の中だけでなく人文研究の中での意義を持ち二十一世紀グローバリゼーションにおける国家のダイナミズムについての提言をもたらすことになった。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計25件（うち査読付論文 17件 / うち国際共著 3件 / うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 下河辺美知子	4. 巻 25
2. 論文標題 レイジーな読者がフォークナ を読んでみた：音の玉手箱としての『八月の光』	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 フォークナー	6. 最初と最後の頁 4-15
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 巽孝之	4. 巻 56
2. 論文標題 濫喩としての感染：アメリカ文学思想史の視点から	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 アメリカ研究	6. 最初と最後の頁 113-33
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 巽孝之	4. 巻 14
2. 論文標題 遊歩するポー研究：「群衆の人」の環大陸的文学史	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 ポー研究	6. 最初と最後の頁 52-66
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -
1. 著者名 Takayuki Tatsumi	4. 巻 vol.2 no.4
2. 論文標題 The Matic Realist Unconscious: Twain, Yamashita and Jackson	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 Literature	6. 最初と最後の頁 257-64
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 巽孝之	4. 巻 47&48
2. 論文標題 時をかけるソロー：ヨセミテ、熊野、八ヶ岳	5. 発行年 2023年
3. 雑誌名 ヘンリー・ソロー研究論集	6. 最初と最後の頁 89-99
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 舌津智之	4. 巻 23
2. 論文標題 ブア・ホワイトと性革命：『タバコ・ロード』の文化遺産	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 フォークナー	6. 最初と最後の頁 12-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 舌津智之	4. 巻 99
2. 論文標題 「テキストと戯れる」アメリカ文学をどう読むか	5. 発行年 2022年
3. 雑誌名 英文學研究	6. 最初と最後の頁 97-102
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 下河辺美知子	4. 巻 8
2. 論文標題 『メルヴィル文学における<演技する主体> 竹内勝徳 書評	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 Sky-Hawk: the Journal of Melville Society of Japan	6. 最初と最後の頁 116-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takayuki Tatsumi	4. 巻 0
2. 論文標題 Transnational American Studies: or, Trans-Atlantic, Trans-Pacific, Trans-Chronological	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Keio American Studies	6. 最初と最後の頁 7-16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 巽孝之	4. 巻 19
2. 論文標題 作家生命論演劇篇ートウェイン『奴は死んだのか?』を中心に	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本マーク・トウェイン 研究と批評	6. 最初と最後の頁 12-20
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 巽孝之	4. 巻 1
2. 論文標題 人文学の通義ーその生命、自由、幸福の探求について	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 一般社団法人国際メディア・女性文化研究所設立記念シンポジウム記録集	6. 最初と最後の頁 6-13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 巽孝之	4. 巻 1
2. 論文標題 空洞地球再訪ーポー・ヴェルヌ・ブラッドベリ	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 ジュール・ヴェルヌとフィクションの冒険者たち 水声社	6. 最初と最後の頁 183-210
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 巽孝之	4. 巻 1
2. 論文標題 フランクリン博士の子どもたちーフランケンシュタイン、特斯拉、そしてガーンズバック	5. 発行年 2021年
3. 雑誌名 語られぬ他者の声を聴く 開文社	6. 最初と最後の頁 1-28
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 舌津智之	4. 巻 5-31
2. 論文標題 テネシー・ウィリアムズ『男が死ぬ日』劇評	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 アメリカ演劇	6. 最初と最後の頁 66-69
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takayuki TATSUMI	4. 巻 40
2. 論文標題 Dr. Franklin's Children:; Kant, Shelley and Priest	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Colloquia	6. 最初と最後の頁 97-107
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 巽孝之	4. 巻 11
2. 論文標題 行く手にはピムの幻影：ポー、大岡昇平、J.G.バラード	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 ポー研究	6. 最初と最後の頁 3 - 22
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takayuki TATSUMI	4. 巻 25
2. 論文標題 The Advent of Asian Speculative Fiction: In Response to Wai Chee Dimock's Reading of 'The Three-Body Problem'	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 AALA Journal	6. 最初と最後の頁 16-26
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 舌津智之	4. 巻 21
2. 論文標題 メルヴィルと南部：あるいは、崩壊の予見	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 フォークナー (日本ウィリアム・フォークナー協会編)	6. 最初と最後の頁 92-106
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 舌津智之	4. 巻 7
2. 論文標題 『繋がり』の詩学：近代アメリカの知的独立と <知のコミュニティ> の形	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Sky-Hawk: The Journal of the Melville Society of Japan	6. 最初と最後の頁 96-100
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Michiko SHIMOKOBE	4. 巻 No. 1-2
2. 論文標題 Erasure of Voice in Post-War Japan: Derrida, Caruth, Oe."	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Literature and Trauma Studies	6. 最初と最後の頁 73-112
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 下河辺美知子	4. 巻 79
2. 論文標題 ボカホンタス・ナラティブにおける語りの欲望：ジョン・スミスの出立	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アメリカ文学 日本アメリカ文学会東京支部会報	6. 最初と最後の頁 21～30
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Michiko SHIMOKOBE	4. 巻 20
2. 論文標題 Inland/Oceanic Imagination in Melville's 'Redburn' : Expansion and Memory in the Political Climate of America	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The Japanese Journal of American Studies	6. 最初と最後の頁 1-18
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 巽孝之	4. 巻 79
2. 論文標題 環大陸的アメリカ文学史のために：コメントリーに代えて	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 アメリカ文学 東京支部会報	6. 最初と最後の頁 39- 47
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takayuki TATSUMI	4. 巻 20-1
2. 論文標題 In Pym's Footsteps: Poe, Ooka, and Ballard	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 The Edgar Allan Poe Review	6. 最初と最後の頁 110-25
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 日比野啓	4. 巻 72-1
2. 論文標題 ニール・サイモン作品のユダヤ性について	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 悲劇喜劇	6. 最初と最後の頁 25-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計45件 (うち招待講演 29件 / うち国際学会 21件)

1. 発表者名 下河辺美知子
2. 発表標題 十九世紀アメリカ人はどこに立っていたのか？
3. 学会等名 日本ナサニエル・ホーソン協会第39回全国大会 (招待講演)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Takayuki Tatsumi
2. 発表標題 The Purloined Voice: Poe, de Man, Nixon
3. 学会等名 Edgar Allan Poe Society (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 巽孝之
2. 発表標題 ゴシック的無意識：ポー、ジェイムズ、イシグロ
3. 学会等名 日本ヘンリー・ジェイムズ協会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 巽孝之
2. 発表標題 慶應義塾とアメリカ：Tricultureの原点
3. 学会等名 サンフランシスコ三田総会（招待講演）
4. 発表年 2023年

1. 発表者名 舌津智之
2. 発表標題 ニューヨークとサザン・ホスピタリティ：『ティファニーで朝食を』に見る歓待の親密圏
3. 学会等名 日本英文学会（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 舌津智之
2. 発表標題 植物とポリアモリー：Sarah Orne Jewettの官能性
3. 学会等名 日本英文学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 舌津智之
2. 発表標題 隠喩としてのパンデミック：1950年代アメリカ演劇と「蔓延」の強迫
3. 学会等名 日本アメリカ演劇学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 舌津智之
2. 発表標題 複数愛の(不)可能性: "A Streetcar Named Desire"とMae West
3. 学会等名 日本アメリカ文学会
4. 発表年 2022年

1. 発表者名 Michiko Shimokobe
2. 発表標題 Mapping Nineteenth-Century Formless America: Herman Melville's Nautical Stories
3. 学会等名 Virtual Conference (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 巽孝之
2. 発表標題 人文学の国際化と日本語分科会
3. 学会等名 日本学術会議(オンライン)(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 巽孝之
2. 発表標題 大統領のソフトパワー: リンカーン演説に見る英語の発信力
3. 学会等名 慶應義塾時事英語研究会(オンライン)(招待講演)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 巽孝之
2. 発表標題 文学と歴史
3. 学会等名 慶應義塾大学藝文学会（オンライン）（招待講演）
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Takayuki Tatsumi
2. 発表標題 How I Got Started with Poe, Part I
3. 学会等名 Poe Studies Association (online) (国際学会)
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 巽孝之
2. 発表標題 最後の授業：慶應義塾とアメリカ
3. 学会等名 慶應義塾大学英米文学専攻（オンライン）（招待講演）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 巽孝之
2. 発表標題 世界文学を考える
3. 学会等名 サウンディングズ英語英米文学会（オンライン）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 巽孝之
2. 発表標題 世界文学の再構築
3. 学会等名 世界文学・語圏横断ネットワーク（オンライン）
4. 発表年 2021年

1. 発表者名 Tomoyuki Zettsu
2. 発表標題 Comments on the Papers by Michael Bourdaghs, Jun Hee Lee, and Mari Nagatomi
3. 学会等名 Popular Songs in Cool War Japan (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Michiko SHIMOKOBE
2. 発表標題 'Mardi' in Nineteenth-century Formless America: Oceanic Roaming or Global Roaming
3. 学会等名 12th International Melville Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Michiko SHIMOKOBE
2. 発表標題 Sea and Sky in Nineteenth-century American Discourse: Ocean-going Novels of Herman Melville
3. 学会等名 International Conference on The Aesthetic Mechanisms of Ocean Representations in British, American, and Contexts (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Michiko SHIMOKOBE
2. 発表標題 The South Sea in Cultural Imagination of Nineteenth-century America: Nautical Novels of Herman Melville
3. 学会等名 Pacific Ancient Modern Language Association (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takayuki TATSUMI
2. 発表標題 Pentecost as Metaphor: The Impact of the Pinkster Festival on Melville's Works
3. 学会等名 12th International Melville Society Conference (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takayuki TATSUMI
2. 発表標題 Crossing the Line: The Rhetoric of Decapitation in 'Moby-Dick'
3. 学会等名 International Conference on The Aesthetic Mechanisms of Ocean Representations in British, American, and Asian Contexts (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takayuki TATSUMI
2. 発表標題 A Transdisciplinary Approach
3. 学会等名 Todd Dufrene's Workshop on Moses and Monotheism (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 巽孝之
2. 発表標題 アメリカ文学とフロンティア
3. 学会等名 慶應義塾大学文学部公開講座・文学部のひらく世界（招待講演）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takayuki TATSUMI
2. 発表標題 The Advent of Asian Speculative Fiction: Computation, Translation, and The Three-Body Problem
3. 学会等名 アジア系アメリカ文学研究会30周年記念国際フォーラム（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 巽孝之
2. 発表標題 推理小説の起源
3. 学会等名 松本清張記念館特別企画展「E.A. ポーと松本清張」
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takayuki TATSUMI
2. 発表標題 Building Transtational American Studies Scholarship: The New Routledge Companion
3. 学会等名 American Studies Association Annual Conference（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takayuki TATSUMI
2. 発表標題 Transpacific Turn
3. 学会等名 The International Conference on Transnational American Studies (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Takayuki TATSUMI
2. 発表標題 Growing (with) Poe
3. 学会等名 The 2nd International EAPSA Conference: "Beyond Childhood and Adolescence... Growing with E.A.Poe" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Takayuki TATSUMI
2. 発表標題 American Manhood: Around the Turn into the Twentieth Century
3. 学会等名 A Special Symposium in American Studies (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Takayuki TATSUMI
2. 発表標題 Psychoanalysis, Literature and Film Redefined: Dialogues with Professor Jean-Michel Rabate
3. 学会等名 International Conference at Seikei University (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Takayuki TATSUMI
2. 発表標題 Translating and Adapting American Renaissance Writers in Japan
3. 学会等名 The International Cionference "Translation and Modernity in Japan" (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 Tomoyoki ZETTSU
2. 発表標題 "The Paradise of Bachelors" and the American South
3. 学会等名 the 12th International Melville Society Conference (国際学会)
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 巽孝之
2. 発表標題 21世紀に求められる人文科学と大学教育：大学改革と人間形成
3. 学会等名 国際メディア女性文化研究所・設立記念シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 巽孝之
2. 発表標題 帝国の身体：アメリカ命名から明白な運命まで
3. 学会等名 総合教育科目メディアとしての身体 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 巽孝之
2. 発表標題 「文化」を考える：日本英文学会における文化研究の可能性
3. 学会等名 日本英文学会第90回全国大会シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takayuki TATSUMI
2. 発表標題 In Pym's Footseps: Poe, Ooka, Ballard
3. 学会等名 The International Poe and Hawthorne Conference Plenary Lecture（招待講演）（国際学会）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 巽孝之
2. 発表標題 国際的研究の未来
3. 学会等名 日本メルヴィル学会年次大会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 巽孝之
2. 発表標題 ケイコ・イトウ『わが上海：1942 - 1946』を読む
3. 学会等名 第26回アジア系アメリカ文学会フォーラム（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takayuki TATSUMI
2. 発表標題 Ghost in the City: Towards the Aesthetics of the Cyber-Picturesque
3. 学会等名 Center for Asia-Pacific Initiatives Conference (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Takayuki TATSUMI
2. 発表標題 Dr. Franklin's Children: Frankenstein, Tesla and Gernsback
3. 学会等名 Sophia International Symposium (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 巽孝之
2. 発表標題 『白鯨』と産業社会：メルヴィル生誕200周年
3. 学会等名 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科シンポジウム (招待講演)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 巽孝之
2. 発表標題 知舞い学踊る。大妻の空、大妻の夏
3. 学会等名 第7回パラノイドの帝国 (招待講演)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 舌津智之
2. 発表標題 アメリカ文学にみるサムソンとデリラの水脈
3. 学会等名 九州アメリカ文学会（招待講演）
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 舌津智之
2. 発表標題 小説家の詩
3. 学会等名 日本文学学会関東支部第16回大会シンポジウム（招待講演）
4. 発表年 2018年

〔図書〕 計33件

1. 著者名 下河辺美知子	4. 発行年 2021年
2. 出版社 小鳥遊書房	5. 総ページ数 554
3. 書名 脱領域・脱構築・脱半球：二十世紀人文学のために	

1. 著者名 下河辺美知子	4. 発行年 2023年
2. 出版社 開文社	5. 総ページ数 435
3. 書名 ロマンスの倫理と語り：いまホーソーンを読む理由	

1. 著者名 巽孝之	4. 発行年 2021年
2. 出版社 小鳥遊書房	5. 総ページ数 554
3. 書名 脱領域・脱構築・脱半球：二十世紀人文学のために	

1. 著者名 巽孝之	4. 発行年 2022年
2. 出版社 NHK出版	5. 総ページ数 116
3. 書名 100分de名著：エドガー・アラン・ポー「ジャンル」の創造者	

1. 著者名 巽孝之	4. 発行年 2022年
2. 出版社 小鳥遊書房	5. 総ページ数 280
3. 書名 慶應義塾とアメリカ：巽孝之最終講義	

1. 著者名 Takayuki Tatsumi	4. 発行年 2021年
2. 出版社 University of Iowa Press	5. 総ページ数 288
3. 書名 William Gibson and the Futures of Contemporary Culture	

1. 著者名 Takayuki Tatsumi	4. 発行年 2023年
2. 出版社 Palgrave Macmillan	5. 総ページ数 500
3. 書名 Retrospective Poe: The Master, His Readership, His Legacy	

1. 著者名 舌津智之	4. 発行年 2021年
2. 出版社 ミネルヴァ初号	5. 総ページ数 256
3. 書名 深まり雪アメリカ文学：源流と展開	

1. 著者名 舌津智之	4. 発行年 2021年
2. 出版社 小鳥遊書房	5. 総ページ数 554
3. 書名 脱領域・脱構築・脱半球：二十世紀人文学のために	

1. 著者名 下河辺美知子	4. 発行年 2020年
2. 出版社 小鳥遊書房	5. 総ページ数 308
3. 書名 マニフェスト・デスティニーの時空間	

1. 著者名 巽孝之	4. 発行年 2020年
2. 出版社 小鳥遊書房	5. 総ページ数 309
3. 書名 マニフェスト・デスティニーの時空間	

1. 著者名 巽孝之	4. 発行年 2020年
2. 出版社 ミネルヴァ書房	5. 総ページ数 200
3. 書名 よくわかるアメリカ文化史	

1. 著者名 巽孝之	4. 発行年 2020年
2. 出版社 新曜社	5. 総ページ数 200
3. 書名 世界文学へのいざない：機器の時代に何を、どう読むか	

1. 著者名 Takayuki Tatsumi	4. 発行年 2020年
2. 出版社 Lehigh University Press	5. 総ページ数 200
3. 書名 Anthologizing Poe: Editions, translations, and (Trans)national	

1. 著者名 Takayuki Tatsumi	4. 発行年 2021年
2. 出版社 University of Iowa Press	5. 総ページ数 300
3. 書名 William Gibson and the Futures of Contemporary Culture	

1. 著者名 舌津智之	4. 発行年 2020年
2. 出版社 小鳥遊書房	5. 総ページ数 308
3. 書名 マニフェスト・デスティニーの時空間	

1. 著者名 下河辺美知子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 彩流社 石原剛編著	5. 総ページ数 297
3. 書名 空とアメリカ文学	

1. 著者名 下河辺美知子	4. 発行年 2019年
2. 出版社 小鳥遊書房 監修	5. 総ページ数 341
3. 書名 アメリカン・マインドの音声：文学・外傷・身体	

1. 著者名 Takayuki TATSUMI	4. 発行年 2019年
2. 出版社 Sage	5. 総ページ数 31208
3. 書名 Trans-Pacific Cultural Studies, 4 volumes	

1. 著者名 Takayuki TATSUMI	4. 発行年 2019年
2. 出版社 The Routledge Companion to Transnational American Studies	5. 総ページ数 400
3. 書名 Routledge	

1. 著者名 巽孝之	4. 発行年 2019年
2. 出版社 小鳥遊書房	5. 総ページ数 341
3. 書名 アメリカン・マインドの音声：文学・外傷・身体	

1. 著者名 舌津智之	4. 発行年 2019年
2. 出版社 小鳥遊書房	5. 総ページ数 341
3. 書名 アメリカン・マインドの音声：文学・外傷・身体	

1. 著者名 舌津智之	4. 発行年 2019年
2. 出版社 精読という迷宮：アメリカ文学のメタリーディング	5. 総ページ数 344
3. 書名 松籟社	

1. 著者名 舌津智之	4. 発行年 2019年
2. 出版社 小鳥遊書房	5. 総ページ数 320
3. 書名 ヒッピー世代の先覚者たち：対抗文化とアメリカの伝統	

1. 著者名 日比野啓	4. 発行年 2020年
2. 出版社 青土社	5. 総ページ数 251
3. 書名 アメリカン・ミュージックとその時代	

1. 著者名 日比野啓	4. 発行年 2019年
2. 出版社 小鳥遊書房	5. 総ページ数 241
3. 書名 アメリカン・マインドの音声：文学・外傷・身体	

1. 著者名 日比野啓	4. 発行年 2019年
2. 出版社 風間書房	5. 総ページ数 359
3. 書名 Facets of English: 英語英米文学研究の現在	

1. 著者名 下河辺美知子	4. 発行年 2018年
2. 出版社 共著 風間書房 日比野啓責任編集	5. 総ページ数 368
3. 書名 Facets of English : 英語英文学研究の現在 成蹊大学人文叢書16	

1. 著者名 Takayuki TATSUMI	4. 発行年 2018年
2. 出版社 Sairyusha Publishers	5. 総ページ数 181
3. 書名 Young Americans in Literature: The Post-Romantic Turn in the Age of Poe, Hawthorne and Melville	

1. 著者名 巽孝之	4. 発行年 2018年
2. 出版社 大修館書店	5. 総ページ数 225
3. 書名 パラノイドの帝国 : アメリカ文学精神史	

1. 著者名 巽孝之	4. 発行年 2018年
2. 出版社 彩流社	5. 総ページ数 305
3. 書名 マニエリスム談義：驚異の大陸をめぐる超英米文学史	

1. 著者名 Takayuki TATSUMI	4. 発行年 2018年
2. 出版社 University of Illinois Press Dale Knickerbocker, ed.	5. 総ページ数 236
3. 書名 Lingua Cosmica: Science Fiction from around the World	

1. 著者名 舌津智之	4. 発行年 2018年
2. 出版社 彩流社	5. 総ページ数 374
3. 書名 フォークナー文学の水脈	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	巽 孝之 (Tatsumi Takayuki) (30155098)	慶應義塾大学・文学部(三田)・名誉教授 (32612)	
研究分担者	舌津 智之 (Zettsu Tomoyuki) (40262216)	立教大学・文学部・教授 (32686)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究 分 担 者	日比野 啓 (Hlbino Kei) (40302830)	成蹊大学・文学部・教授 (32629)	研究分担者を外れている。

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計4件

国際研究集会 Trans-Pacific, Trans-Atlantic, Trans-Chronological	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 American Studies Association Annual Conference	開催年 2019年～2019年
国際研究集会 Consciousness and Ascription: Emerson and the Lonely Subject	開催年 2018年～2018年
国際研究集会 Transpacific Perspectives on Nineteenth-century American Literature	開催年 2022年～2022年

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関